

チョウ類保全シンポジウム ーギフチョウ・ヒメギフチョウー

2008年2月10日(日)
10:00-16:30
渋川市民会館(群馬県)

特別講演： 日高敏隆氏 海野和男氏



ギフチョウ

Luehdorfia japonica

春一番、早くサクラの咲く頃にだけ姿を現します。
日本にだけ生息する特産種で、美しさから、古くより人気を集めてきました。
岐阜県で発見されたことにちなみ、「ギフチョウ」と名づけられました。

里山のシンボル、ギフチョウ。

「春の女神」とも呼ばれ、もっとも親しまれているチョウのひとつです。

今回は、長期にわたりヒメギフチョウを守る活動に取り組んできた赤城山を望む場所で、ギフチョウ・ヒメギフチョウや里山環境の保全を考えます。

チョウ類や身近な自然に興味のある方、里山の保全に関心のある方など、多くのご参加をお待ちしております。



ヒメギフチョウ

Luehdorfia puziloi

ギフチョウよりやや寒い地域に生息しています。5月頃、北国に遅い春が訪れると同時に現れます。
ギフチョウよりやや小型で、翅(はね)の色や模様が少し違います。朝鮮半島などにも分布しています。

主催 特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

共催 群馬昆虫学会・赤城姫を愛する集まり

後援 群馬県教育委員会・渋川市教育委員会・(財)日本自然保護協会・日本鱗翅学会



独立行政法人環境
再生保全機構地球
環境基金の助成を
受けて開催します

チョウ類保全シンポジウム

ギフチョウ、ヒメギフチョウは、春一番に現れることや、美しさから、一般にもよく名を知られています。しかし、絶滅した地域も増えつつあります。環境省のレッドデータブック（絶滅のおそれのある生物をまとめた本）にも掲載され、保全のための活動が各地で行われるようになってきました。

チョウ類保全シンポジウムは、2007年1月に岐阜県で初めて開催しました。チョウをシンボルとして地域の自然環境に考える場として、今後、全国各地で開催を予定しています。

今回は、ヒメギフチョウの保全活動を長年行ってきた群馬県渋川市を会場に、チョウを通じて自然に親しみ、守ることについて、皆様と考えていきたいと思っています。

プログラム

■タイムスケジュール

9:30 開場

10:00～ 開会 渋川市立南雲小学校

(1) 特別講演 「チョウと親しみ、自然を守ること」 10:20～12:00

日高敏隆氏（京都精華大学客員教授・京都大学名誉教授）

海野和男氏（昆虫写真家・日本自然科学写真協会副会長）

司会 藤井 恒（日本チョウ類保全協会 代表理事）

休憩 12:00～13:00

(2) ギフチョウ・ヒメギフチョウを守る 13:00～14:20

講演／科学の目からチョウを見れば ～保全するには、まずチョウのことを知ろう～ 竹内 剛（広島大学）

講演／赤城山におけるヒメギフチョウの保全活動 篠原 豊（赤城姫を愛する集まり）

講演／大阪府能勢におけるギフチョウの保全活動 岩井正行（能勢のギフチョウを守る会）

講演／愛知県春日井市におけるギフチョウの保全活動 高橋匡司（かすがいギフチョウのすむ里山づくりの会）

(3) 群馬県の自然を守る 14:20～15:10

講演／群馬県の自然保護活動

渡辺辰雄（群馬県自然環境課）

講演／群馬県のチョウ類の現状と保全

松村行栄（群馬昆虫学会）

休憩 15:10～15:25

(4) パネルディスカッション 15:25～16:30 群馬県での今後の自然環境の保全に向けて

16:30 閉会



特定非営利活動法人（NPO法人）日本チョウ類保全協会とは？

2004年6月に発足し、チョウ（蝶）をシンボルとして、自然環境の保全をすすめています。絶滅の危機にあるチョウ類の、保全活動や調査を進めているほか、保全に関する広報・啓発活動なども幅広く行っています。現在会員数は約450名で、チョウの好きな方や自然写真の愛好家、自然保護活動に賛同される方など、全国の方々が参加されています。ぜひ、ご入会ください。

お申し込み

■参加費：無料

■会場：渋川市民会館は、JR上越線渋川駅から徒歩20分、バスではタウンバス渋川スカイランドパーク行「市民会館前」下車、タクシーでは5分。車では関越自動車道渋川ICから10分です。

■申込方法：郵送、FAX、E-mailにて、「シンポジウム申込」と明記の上、氏名・性別・所属・住所・電話番号・E-mailを下記問い合わせ先までお申し込みください。

■申し込み締切：当日参加も可能ですが、なるべく事前にお申し込みください。

お問い合わせ先

■特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会（担当 松村・中村・永幡）

165-0026 東京都中野区新井5-1-9-307 TEL 080-5127-1696 FAX 03-3778-3165

E-mail: butterfly-conservation@japan-inter.net <http://japan-inter.net/butterfly-conservation/>



写真提供 杉浦宗規、松村行栄